

2月連合奈良の日

「つくろう、ほいろう」労働組合 「全国一斉労働相談」の訴えを行う！

2月7日に近鉄大和八木駅前で連合奈良の日街宣行動を行いました。当日は、コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、従前に行っている、ビラ・テ

イシュ配布は行わず、マイクでの街宣行動をしました。

連合奈良水野事務局長の司会で始まり、まず連合奈良西田会長から、労働組合の重要性、必要性が訴えられ、連合が行っている労働相談活用が述べられました。続いて、森

山賀文奈良県会議員から、コロナ禍に対応する県政の取り組状況の等が述べられました。続いて臼井卓也橿原市議、上田邦芳橿原市議、工藤将之桜井市議から具体的な市政に関わっての訴えが行



われました。また、松浦利久子宇陀市議も参加されました。

コロナ禍での行動で、様々な制約がある中ですが、何もしないではなく、できることを見つけて今後も地域での運動を展開していきますので、ご協力をお願いします。

当日の参加者

南和地協役員等 4人

連合奈良：西田会長、水野事務局長、

松田、山根両副事務局長 4人

連合推薦議員：森山奈良県議、臼井橿原市議、

上田橿原市議、工藤桜井市議、

松浦宇陀市議 5人

2021年度役員体制決まる

北川議長先頭に地域運動を推進

2021年度地協役員体制が、単組や地協事情により決定できず、1月27日開催の地協幹事会で最終確認しました。

今年度の役員には、兼ねてからの課題であった女性役員が3人参加いただくと共に、大きく若返る体制となりました。

北川議長を先頭に、『地域に顔の見える』地協活動を更に推進していきます。

【役員名簿は裏面を参照して下さい。】

2022春闘スタート

コロナ禍だからこそ積極賃上げを！

『上がる物価』『下がる賃金』により私たちの生活は年々苦しくなり、生活を切り詰めなければならなくなっています。日本の労働者の賃金は1997年をピークに低下し続けています。この結果中間層が薄くなり低所得者層が拡大しています。『一億総中流』とは過去のものとなりました。

日本の労働者の賃金を決める唯一の場である春闘で、賃上げに向け団結して頑張りましょう。